

## 弁天島とお蛇浦

弁天島は、お蛇浦のすぐそばにある小さな神聖な島です。その劇的でゴツゴツした岩は、島の神社への入り口を示す赤い鳥居で区切られています。水、音楽、芸術など、全ての流れるものの女神で白い蛇の白蛇弁天が祀られています。民話では人間の形をしたヘビが島に到着し、漁師の 2 人の娘を誘い出したと伝えられています。その見返りに彼の漁業は大成しました。神話上のヘビを鎮めるために、崇拝者は供物として神社に卵を供えます。

干潮時には、弁天島とお蛇浦海岸の特異な地質が明らかになります。周囲の平らな岩に比べ、弁天島は劇的に突き出ており、泥岩と砂岩が交互に重なった層で構成されています。ギザギザの物が平らな岩盤の土台にそびえ立ち、突き刺さっているように見えますが、これは地震活動と地殻運動による力の結果です。この現象は、しなやかで変形しやすい素材（粘土のように曲げたり動かせる岩石）が、上に重なっているよりもろい石を貫くようにして起こります。地質上の貫入で、ダイアピルと呼ばれています。きめの細かい沈殿物が構造上引き起こされた割れ目に沿って、泥岩と砂岩を貫きます。この様な泥ダイアピルが見られる、国内では最適な場所のひとつと言えるでしょう。

3 月と 8 月の数日は 3 時間ほど、潮が満ちてくるまで島へ歩いて行くことができます。